

## 中期経営計画における経営目標・経営指標の進捗状況

法人名等		目標の内容・実績			
<b>【法人名】</b> 公益財団法人 さいたま緑のトラスト協会	目標	会員数(個人・法人) 【令和4年度目標】 1,470人 【令和5年度目標】 1,490人 【令和6年度目標】 1,510人	ボランティア実働者数 【令和4年度目標】 460人 【令和5年度目標】 470人 【令和6年度目標】 480人	自然観察会参加者数 【令和4年度目標】 400人 【令和5年度目標】 410人 【令和6年度目標】 420人	寄付金・会費収入額 【令和4年度目標】 525万円 【令和5年度目標】 546万円 【令和6年度目標】 568万円
	各年度の実績	【令和4年度実績】 1,447人	【令和4年度実績】 442人	【令和4年度実績】 314人 (※13回の計画のうち、新型コロナウイルス感染拡大防止等のため2回が中止)	【令和4年度実績】 505万円
	<b>【中期経営計画の期間】</b> 令和4年度～令和6年度	法人による自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当協会の公益目的事業であるトラスト運動の普及啓発事業、トラスト保全地の保全管理・運営事業及びトラスト基金の募金・広報活動事業については、いずれも当協会会員であるボランティアスタッフにより事業が展開されているため、会員の確保は必要不可欠である。</li> <li>・ また、会費収入は、当協会の主要な自主財源であり、財源確保の観点からも会員の確保は重要である。</li> <li>・ 令和4年度の実績は目標までわずかに(23人差)届かない状況となっている。</li> <li>・ 会員の確保は、当協会の事業や経営に直接影響を及ぼす最重要事項であるため、今後もトラスト保全地の良さを認識いただくための「自然に親しむ会」の開催や地域イベントへの参加、保全管理活動の楽しさを体験いただく「保全体験」の受入れ等を積極的に行うとともに、トラスト保全地近隣の市町を中心とした広報活動の充実等を図ることにより、会員数の増加に努めていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当協会の事業は、ボランティアスタッフにより実施されていることから、ボランティアスタッフの継続的な確保は、当協会の最重要課題となっている。</li> <li>・ このため、各保全地における自然観察会の開催や地元イベントへの参加等において新規勧誘に努めるとともに、入会後は、魅力的な研修会等を実施することにより、ボランティアとしてのスキルアップと、楽しめる活動機会の確保を図っている。</li> <li>・ 令和4年度の実績は目標までわずかに(18人差)届かない状況となっているほか、実働しているボランティアスタッフの年齢層は70歳代が中心であり、年々、高齢化が進んでいることも大きな課題となっている。</li> <li>・ 今後は、若者や現役世代にも魅力的なイベント等の開催を検討するとともに、企業や大学等と連携して社員や学生の保全活動体験等を受け入れる取り組みも進め、ボランティアスタッフの充実を図っていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当協会では、各トラスト保全地を会場とする自然観察会をトラスト運動への理解促進と会員勧誘の機会ととらえ、重点事業として実施している。</li> <li>・ 令和4年度は13回の「自然に親しむ会」の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため1回、天候不良のため1回が中止となり、目標に達することができなかった。</li> <li>・ 自然観察会は、タケノコ掘りやシイタケのコマ打ち等と組み合わせた体験型イベントに人気があるが、いずれも保全地面積や対応するボランティアスタッフの人数に限りがあることから、通常は抽選により参加者を絞らざるを得ない状況にある。</li> <li>・ 今後も、各保全地の特長を活かした魅力的なイベント開催を工夫するとともに、広報にも力を入れ、自然観察会参加者数の増加を図っていきたい。</li> </ul>